

10/6
手紙

首都圏反原発連合(反原連)は2日、2021年3月末をもって活動を休止すると発表しました。グループとしては解散せず、公式ホームページ、ツイッター、フェイスブックのアカウントは継続します。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大を前に活動休止の時期を内定。休止までの活動を支えるためのドネーション(寄付)を呼びかけてきました。

反原連は、12年3月末から毎週金曜日に続けてきた首相官邸前抗議を軸に活動してきました。「何かあれば官邸前、国会前に集まり意思表示をする」という方法とスタイルは、SEALDsの活動な

反原連 来年3月活動休止

官邸前抗議定着させる

どに広がり、現在も多くのグループ・団体がさまざまな 이슈で実施しており、市民運動において、ひとつの役割は果たしたものと考えています」と述べています。

圧倒的な世論が原発ゼロを求めるなか、原発を「重要なベースロード電源」として、推進してきた安倍政権の姿勢を批判。しかし、原発がなくても電気は不足せず、リスクも経済的コストも高い原発に依存する理由はなくなったとしています。

「あと半年の活動期間の中で、初心に戻り、誠実に丁寧に、できる限りの活動を実施してゆく」とし、引き続き支援を呼びかけています。